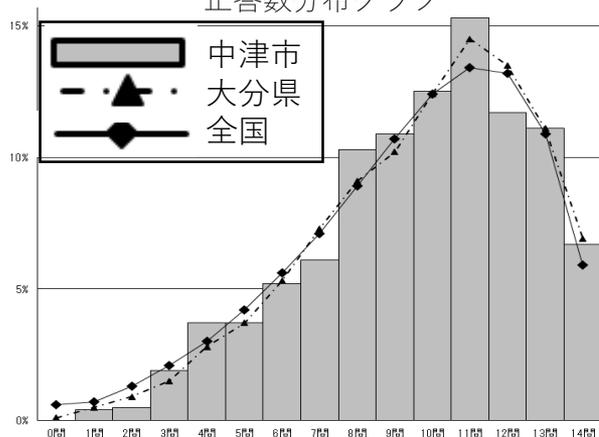


1 調査結果の分析 全国との差が±3Pを超える項目

	問題番号	正答率 (%)			県との差	全国との差	問題の概要	出題の趣旨
		中津市	大分県	全国				
全体		69.3	69.3	67.7	0	+1.6		
成果が見られる問題	1一	66.6	63.6	62.5	+3.0	+4.1	学校の取り組みを紹介する内容を【和田さんのメモ】にどのように整理したのかについて説明したものとして、適切なものを選択する	目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、伝え合う内容を検討することができるかどうかをみる
	2二	61.4	60.6	56.6	+0.8	+4.8	【高山さんの文章】の空欄に入る内容を、【高山さんの取材メモ】を基にして書く	目的や意図に応じて、事実と感想、意見を区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる

正答数分布グラフ



【正答率の傾向から】

- ◇平均正答率は県平均と同程度で、全国平均を上回る。
- ◇記述式問題は、全国平均を7P程度上回っており、県平均と同等である。
- ◇無解答率は、全ての問題で全国平均を下回っており、県と同等である。

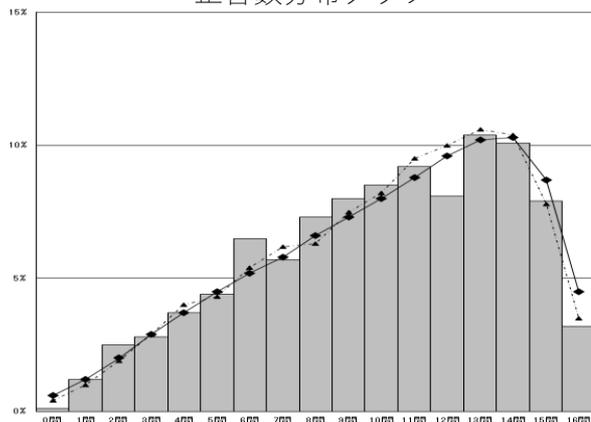
2 具体的な改善方策

- ・事実と感想、意見を区別して書くために、事実を客観的に書き、その事実と感想や意見との関係を十分捉えて書くとともに、文末表現に注意させるために次のような場を設定する。
 - ①内容に注目して、文章全体に一貫性があるかを確認したり、文末表現に着目して、事実と意見を適切に区別しているか、事実と意見を混同していないかを確認したりする場面を設定。
 - ②伝えたいことを支える事実としてふさわしいものを取り上げられているか、事実を裏付けとすることでどのような意見を伝えたいのかを確認できるよう、児童同士で書いた文章を読み合い確かめある場面を設定。
 - ③事実と意見を区別して書けない場合は、主語や文末表現を意識して文章を見直すよう促す。

1 調査結果の分析 全国との差が±3Pを超える項目

	問題番号	正答率 (%)			県との差	全国との差	問題の概要	出題の趣旨
		中津市	大分県	全国				
全体		61.9	63.1	63.4	-1.2	-1.5		
課題が見られる問題	4(3)	24.6	26.9	31.0	-2.3	-6.4	家から学校までの道のりが等しく、かかった時間が異なる二人の速さについて、どちらが速いかを判断し、そのわけを書く	道のりが等しい場合の速さについて、時間を基に判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できるかどうかをみる
	4(4)	47.9	50.4	54.1	-2.5	-6.2	家から図書館までの自転車の速さが分速何mかを書く	速さの意味について理解しているかどうかをみる
	5(4)	46.1	48.3	49.3	-2.2	-3.2	示された桜の開花予想日の求め方を基に、開花予想日を求める式を選び、開花予想日を書く	示された情報を基に、表から必要な数値を読み取って式に表し、基準値を超えるかどうかを判断できるかどうかをみる

正答数分布グラフ



【正答率の傾向から】

- ◇平均正答率は全国・県平均ともに下回っている。
- ◇記述式問題は、全国・県平均と同等である。
- ◇無解答率は、全国・県平均と同等である。

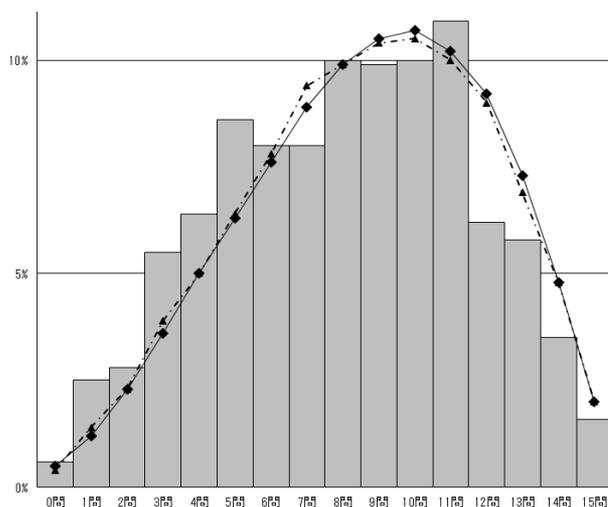
2 具体的な改善方策

- ・2つの数量の関係に着目し、場面に応じて速さの比べ方を考察することができるようにするために、場面や目的に応じて、単位時間あたりに移動する長さや、一定の長さを移動するのにかかる時間を速さと捉え、比べることができるようにする。

1 調査結果の分析 全国との差が+3P、-6Pを超える項目

問題番号	正答率 (%)			県との差	全国との差	問題の概要	出題の趣旨	
	中津市	大分県	全国					
全体	54.0	57.3	58.1	-3.3	-4.1			
課題が見られる問題	1四	37.2	45.2	44.7	-8.0	-7.5	話合いの話題や発言を踏まえ、「これからどのように本を選びたいか」について自分の考えを書く	話合いの話題や展開を捉えながら、他者の発言と結び付けて自分の考えをまとめることができるかどうかをみる
	2四	35.1	40.3	42.6	-5.2	-7.5	本文に書かれていることを理解するために、着目する内容を決めて要約する	目的に応じて必要な情報に着目して要約することができるかどうかをみる
	3二	46.7	51.9	53.8	-5.2	-7.1	物語の下書きについて、文の中の語句の位置を直した意図を説明したものとして適切なものを選択する	文の成分の順序や照応について理解しているかどうかをみる
	3四	41.4	48.3	49.3	-6.9	-7.9	表現を工夫して物語の最後の場面を書き、工夫した表現の効果を説明する	表現の効果を考えて描写するなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができるかどうかをみる
	4一	47.7	54.2	54.9	-6.5	-7.2	短歌に用いられている表現の技法を説明したものとして適切なものを選択する	表現の技法について理解しているかどうかをみる

正答数分布グラフ



【正答率の傾向から】

- ◇平均正答率は全国・県平均ともに下回る。
- ◇記述式問題の正答率は、全国・県平均を7P程度下回る。
- ◇無解答率は、全ての問題で県・全国平均を上回る。

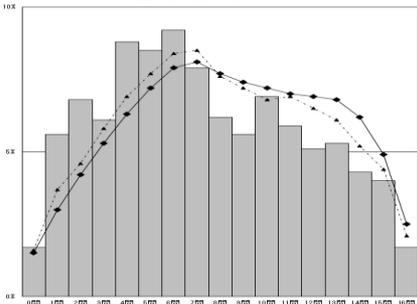
2 具体的な改善方策

- ・要約する際は、目的を明確にした上で、目的に沿っているかどうかを考えたり、必要な情報を正確に捉えたりしながら要約できるようにするために次のことを心がける。
 - ①「要約する力は日常生活のどのような場面で役立つか」など実生活の繋がりを意識させる。
 - ②対象や目的を明確にさせた上で、それらに必要な情報は何かを考えさせながら要約させる。
 - ③生徒が互いの交流により要約文の吟味ができるよう、教師のモデル文（エラー例）を示し、どのような視点で見直すと良いかに気づかせる。
 - ④③で確認した視点をもとに、各自の要約文について見直しをさせる。

1 調査結果の分析 全国との差が+3P、-6Pを超える項目

	問題番号	正答率 (%)			県との差	全国との差	問題の概要	出題の趣旨
		中津市	大分県	全国				
全体		46.3	50.6	52.5	-4.3	-6.2		
課題が見られる問題	1	27.7	35.2	34.8	-7.5	-7.1	nを整数とすると、連続する二つの偶数を、それぞれnを用いた式で表す	連続する二つの偶数を、文字を用いた式で表すことができるかどうかをみる
	5	62.6	64.8	73.1	-2.2	-10.5	2枚の10円硬貨を同時に投げるとき、2枚とも裏が出る確率を求める	簡単な場合について、確率を求めることができるかどうかをみる
	6(3)	34.5	38.3	41.8	-3.8	-7.3	正四面体の各頂点に○を、各辺に□をかいた図において、○に入れた整数の和と□に入る整数の和について予想できることを説明する	統合的・発展的に考え、成り立つ事柄を見だし、数学的な表現を用いて説明することができるかどうかをみる
	7(1)	63.0	70.9	74.3	-7.9	-11.3	障害物からの距離が10cmより小さいことを感知して止まる設定にした車型ロボットについて実験した結果を基に、10cmの位置から進んだ距離の最頻値を求める	与えられたデータから最頻値を求めることができるかどうかをみる
	8(3)	68.5	74.9	76.9	-6.4	-8.4	結衣さんがかいたグラフから、18Lの灯油を使い切るような「強」と「弱」のストーブの設定の組み合わせとその使用時間を書く	グラフの傾きや交点の意味を事象に即して解釈することができるかどうかをみる
	9(2)	17.3	19.0	25.8	-1.7	-8.5	点Cを線分AB上にとり、線分ABについて同じ側に正三角形PACとQCBをつくるとき、 $AQ = PB$ であることを、三角形の合同を基にして証明する	筋道を立てて考え、証明することができるかどうかをみる

正答数分布グラフ



【正答率の傾向から】

- ◇平均正答率は全国・県平均ともに大きく下回っている。
- ◇記述式問題の正答率は、県平均を3P程度下回っており・全国平均も6P程度下回っている。
- ◇無解答率は、全ての問題で県・全国平均を上回っており、記述式の多くでは4～5割程度になっている。

2 具体的な改善方策

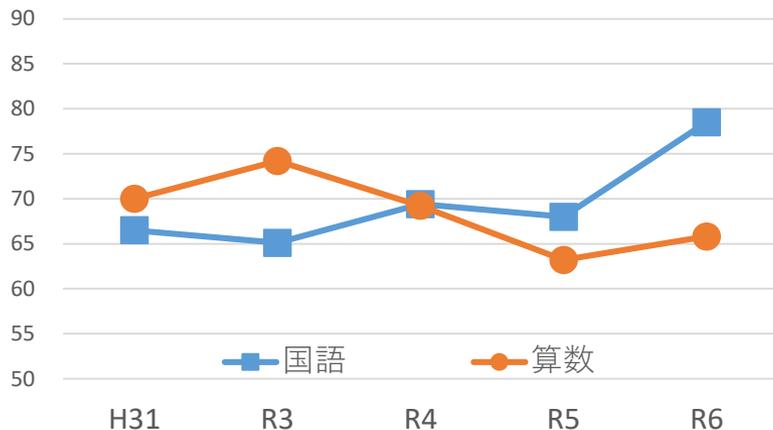
- ・データの分布の傾向を比較して読み取り、判断の理由を数学的な表現を用いて説明できるようにするために次のことを心がける。
 - ①数学的活動のサイクルで、最初から「焦点化した問題」に入るのではなく、日常生活や社会の事象から問題を見出す「数学化」を大切に、生徒全員が問題解決の土台にあがっているか確認する。
 - ②根拠に用いた代表値が、全体の傾向を表す代表値かどうかを意識させる。

全国学調 中津市 質問紙調査結果の推移 「勉強が好き」 「授業が分かる」 【H31～R6】

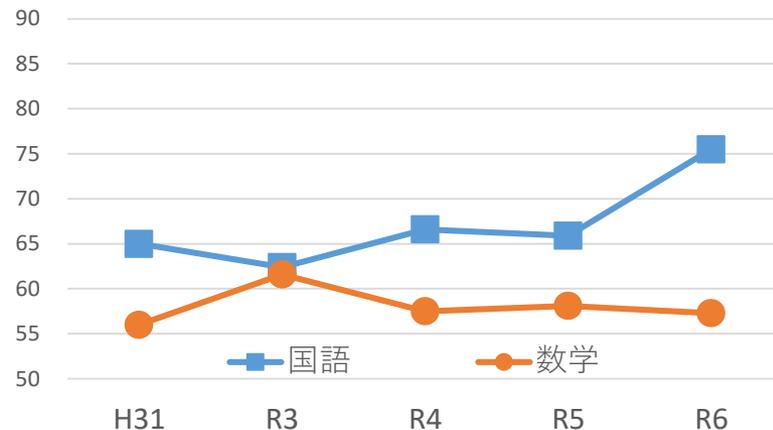
（肯定的回答割合）
か。教科の勉強は好きです

（肯定的回答割合）
りますか。授業の内容はよくわか

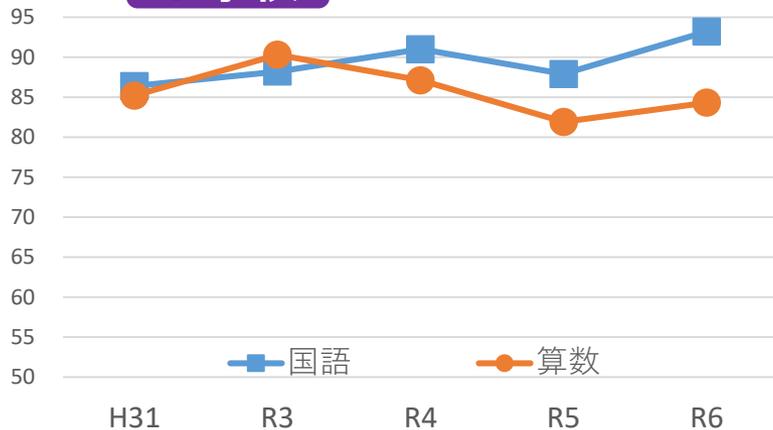
小学校



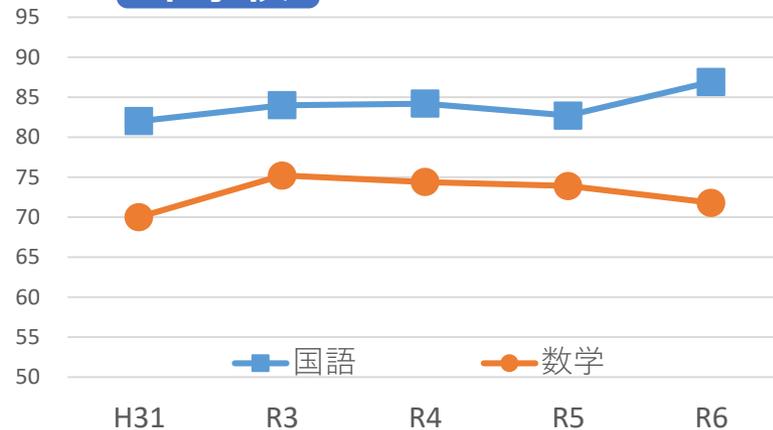
中学校



小学校



中学校



- 「教科の勉強は好きですか」の質問についての肯定的回答割合は、R5からR6にかけて、小の国語・算数、中の国語は増加、中の数学は昨年度とほぼ同程度。
- 「授業の内容はよく分かりますか」の質問についての肯定的回答割合はR5からR6にかけて、小の国語・算数、中の国語は増加、中の数学は減少。

R6全国学調 質問紙調査結果から見える児童生徒の現状

小学校

中学校

原則、肯定的割合
() は昨年度比

①将来の夢や目標を持っていますか。

全国	県	中津市	全国との差	県との差
82.4	82.6	82.8(+3.5)	+0.4	+0.2

全国	県	中津市	全国との差	県との差
66.3	67.1	60.9(-0.3)	-5.1	-5.9

②自分には、よいところがあると思う。(肯定的割合)

全国	県	中津市	全国との差	県との差
84.1	85.1	83.5(+4.7)	-0.3	-1.3

全国	県	中津市	全国との差	県との差
83.3	83.9	83.4(+6.3)	+0.1	-0.5

③学校に行くのは楽しいと思いますか。

全国	県	中津市	全国との差	県との差
84.8	84.5	83.3(+0.1)	-1.5	-1.2

全国	県	中津市	全国との差	県との差
83.8	85.3	85.9(+1.3)	+2.1	+0.6

④学校の授業以外に、普段(月から金)1日当たりどれくらい勉強したか。(塾、家庭教師、ネット活用学習を含む)。**【30分未満】**

全国	県	中津市	全国との差	県との差
18.3	15.0	20.8(-0.3)	+2.5	+5.8

全国	県	中津市	全国との差	県との差
17.0	7.9	11.5(-0.2)	-5.5	+3.6

⑤土日など学校が休みの日に1日当たりどれくらい勉強したか。(塾、家庭教師、ネット活用学習を含む)。**【30分未満】**

全国	県	中津市	全国との差	県との差
51.3	46.2	56.2(+0.9)	+4.9	+10.0

全国	県	中津市	全国との差	県との差
36.2	17.7	30.2(-14.9)	-6.0	+12.5

⑥今までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか。**【週3回以上】**

全国	県	中津市	全国との差	県との差
59.5	56.8	55.2(-9.5)	-4.3	-1.6

全国	県	中津市	全国との差	県との差
64.4	66.9	66.8(-17.1)	+2.4	-0.1

⑦授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表したか。

全国	県	中津市	全国との差	県との差
67.6	62.2	68.2(+9.0)	+0.6	+6.0

全国	県	中津市	全国との差	県との差
64.8	58.4	56.8(+0.2)	-8.0	-1.6

R6 全国学調 質問紙調査結果から見える児童生徒の現状

小学校

中学校

原則、肯定的割合
() は昨年度比

⑧授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたか。

全国	県	中津市	全国との差	県との差	全国	県	中津市	全国との差	県との差
81.9	83.2	82.7(+4.0)	+0.8	-0.5	80.3	80.3	79.0(-3.0)	-1.3	-1.3

⑨授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていたか。

全国	県	中津市	全国との差	県との差	全国	県	中津市	全国との差	県との差
80.3	80.3	79.0(-3.8)	+3.2	+1.7	75.4	78.6	78.0(+3.2)	+2.6	-0.6

⑩あなたの学級では、学級生活をよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めているか。

全国	県	中津市	全国との差	県との差	全国	県	中津市	全国との差	県との差
84.2	86.2	86.5(+14.0)	+2.3	+0.3	86.3	88.8	85.1(+1.9)	-1.2	-3.7

⑪学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいるか。

全国	県	中津市	全国との差	県との差	全国	県	中津市	全国との差	県との差
82.5	85.5	85.8(+8.0)	+3.3	+0.3	80.6	84.2	81.2(+2.2)	+0.6	-3.0

⑫解答時間は十分でしたか（国語、算数・数学の平均）。【やや足りなかった 全く足りなかった】

全国	県	中津市	全国との差	県との差	全国	県	中津市	全国との差	県との差
20.4	19.5	22.1(-0.4)	+1.4	+2.2	23.5	25.9	22.9(-3.2)	-0.6	-3.1

- ① 「夢や目標」の項目で、肯定的な回答の割合が県・全国と比べて小は同程度で中は低い。
- ③ 「学校に行くのが楽しい」と回答した割合が県・全国と比べて、小学校は低く中学校は高い。
- ④⑤ 「授業以外の勉強時間が30分未満」と回答した割合が、小・中学校ともに県より高い。
- ⑦～⑨ 「授業」では、中学校で発表の工夫が全国・県と比べて低い。
- ⑩～⑪ 「学級集団作り」では、小学校で昨年度より大きく上回り、県・全国と比べても高い。

【原則、4段階の内の最高評価の割合】

	番号	質問事項	中津市	大分県	全国	県との差	全国との差
成果が見られる質問	(14)	前年度に、教員が授業で問題を抱えている場合、率先してそのことについて話し合うことを行いましたか【週1回以上】【月数回】	90.0	84.2	78.9	+5.8	+11.1
	(31)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学習指導において、児童が、それぞれのよさを生かしながら、他者と情報交換して話し合ったり、異なる視点から考えたり、協力し合ったりできるように学習課題や活動を工夫しましたか	60.0	43.5	32.8	+16.5	+27.2
	(32)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、授業において、児童の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしましたか	65.0	48.4	34.0	+16.6	+31.0
	(43)	調査対象学年の児童に対する国語の授業において、前年度までに、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫して文章を書くことができるような指導を行いましたか	55.0	41.9	29.8	+13.1	+25.2
	(48)	調査対象学年の児童に対する算数の授業において、前年度までに、児童がどのようなことにつまずくのかを想定した指導を行いましたか	70.0	50.0	38.5	+20.0	+31.5
	(56)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業でどの程度活用しましたか【ほぼ毎日】	90.0	71.5	69.0	+18.5	+21.0
	(75)	全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映をどの程度行っていますか【よく行っている】	85.0	67.1	31.7	+17.9	+53.3
課題がみられる質問	(71)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、学校では、家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えましたか	40.0	58.1	47.2	-18.1	-7.2
	(72)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、家庭学習について、児童が自分で学ぶ内容や学び方を決めるなど、工夫して取り組めるような活動を行いましたか	20.0	34.6	36.0	-14.6	-16.0

【原則、4段階の内の最高評価の割合】

	番号	質問事項	中津市	大分県	全国	県との差	全国との差
成果が見られる質問	(9)	前年度に、教員が授業で問題を抱えている場合、率先してそのことについて話し合うことを行いましたか【週1回以上】	80.0	51.3	31.7	+28.7	+48.3
	(11)	ICTを活用した校務の効率化（事務の軽減）の優良事例を十分に取り入れていますか	70.0	35.0	28.8	+35.0	+41.2
	(17)	生徒自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を学ぶ校内研修を行っていますか	70.0	45.3	30.9	+24.7	+39.1
	(28)	調査対象学年の生徒は、授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいると思いますか	60.0	45.3	37.0	+14.7	+23.0
	(33)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、授業において、生徒自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れましたか	50.0	40.2	26.1	+9.8	+23.9
	(63)	教職員と調査対象学年の生徒がやりとりする場面では、生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか【ほぼ毎日】【週3回以上】	90.0	68.4	57.4	+21.6	+32.6
課題がみられる質問	(52)	調査対象学年の生徒に対する英語の授業において、前年度までに、英語を聞いて（一文一文ではなく全体の）概要や要点を捉える言語活動を行いましたか【よく行った】【どちらかといえば、行った】	80.0	96.6	94.5	-16.6	-14.5
	(75)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、学校では、家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えましたか	30.0	47.0	32.9	-17.0	-2.9

- 教員が授業で悩みを抱えている場合、話し合う体制ができている学校の割合が高い。
- 学習課題や活動の工夫を行ったり、思考を深めたりするような発問や指導を行ったりした学校の割合が高い。
- タブレットを授業が校務の効率化で活用する学校の割合が高い。
- 中学校では英語の授業改善に課題がある。⇒英語の言語活動の充実に取り組む。
- 家庭学習の取り組み方の指導に課題がある。⇒成果があった学校の好事例を発信する。

(1) 「徹底」した補充学習、学び直しや家庭学習を「組織的」に行う

- ・各学校で分析に基づいた補充学習、学び直しや家庭学習に全職員で組織的に取り組む。
- ・分析を基にして、学び直し週間でAIドリルや県・全国調査問題を扱い、「つけるべき力」がついているか検証する。

【小】キュビナ(小5～6)、eライブラリで「知・技」の問題、全国調査問題に取り組ませる。

【中】キュビナ(中1～2)で「知・技」の問題、県データベースで「思・判・表」の問題や全国調査問題に取り組ませる。今後、中1～2の数・英でキュビナを使った単元テスト行う。

(2) 「定着」のための取組を「計画的」に行う

- ・〈その日に学習した内容〉〈少し前に学習した内容〉〈かなり前に学習した内容〉を計画的に授業や補充学習などに取り入れて、「短期・中期・長期」を意識した「つけるべき力」を定着させる指導計画、単元計画をたてる。
- ・学力向上の取り組みを計画的・継続的に行えるよう「4点セット」や「学力向上プラン」に位置づける。

(3) 「つけるべき力」をつけるための授業改善を行うために

- ・学年部会、教科部会を活用し、全教職員で問題を解く時間を持ち、調査問題の分析からも「つけるべき力」を明らかにし、全職員で確認・共通理解する。

(4) すべての児童・生徒が主体的に学び考えを深める授業「みんな活躍授業」の推進

- ・単元計画に基づいたつけたい力と手立てを明確にした授業構想と授業展開
- ・主体的な学習に取り組むための見通しを持つ場の設定
- ・様々な人との対話や協働による学びを深める場の設定
- ・視点が明確な「振り返り」の実施

年度が替わっても、教職員が替わっても、子どもが替わっても、必ず取り組み、常にどの学年・教科でも「偏差値50以上」の力を。